

実施内容	低分子デキストランＬ注の冠動脈内動注
使用する医薬品の名称	低分子デキストランＬ注
診療科	循環器内科
対象者	カテーテル治療（PCI等）の際、血管内イメージングとして光断層撮影が施行される患者
承認日	2025年12月
承認期間	永続的
概要	冠動脈カテーテル治療の血管内イメージングとして光断層撮影（OCT/OFDI）を施行する際、コントラストをはっきりするために血球を除去する必要があります。造影剤を冠動脈注入する方法もありますが、腎臓への負担によるリスクが危惧され、その代替として膠質液の低分子デキストランを血球除去に使用することがありますが、適応外使用となります。
対策	光断層撮影（OCT/OFDI）は血管内超音波（IVUS）の約10倍の解像度を有し、石灰の厚み/範囲を正確に評価することができるため、特に石灰化病変に対するカテーテル治療（ロータブレード/ダイヤモンドバック等）を施行する際の、効果的な石灰プラークの切削ならびに血管穿孔の予防に寄与すると考えられます。リスクとしては、冠動脈カテーテル検査、治療の際使用される造影剤や他の薬剤と同様に、冠動脈注入による悪性不整脈、冠動脈解離等を生じる可能性は否定できませんが、上記の利点が上回ると考えています。検査中は心電図や血圧をモニターし、異常を認めれば直ちに検査を中止します。
問合せ先	京都第二赤十字病院 循環器内科 TEL：(075) 231-5171 （代表）